

# 基礎講座

第37回

## 「貧困」をはかる指標

ハイチ大地震の被害を大きくした背景には、「貧困」がありました。ハイチは、震災前から国の発展を妨げる深刻な貧困問題に長年苦しめられてきたのです。ハイチは西半球の最貧国と報道されていますが、「貧困」とは、いったいどのような状態をさすのでしょうか。



© UNICEF/NYHQ2010-0127/LeMayne  
震災で家を失ったり、余震の恐怖から首都ポルトープランスの貧民区ベルエアの通りの真ん中で夜を明かした人々

### 貧困とはなにか

最貧国とは、開発途上国の中でも最も開発が遅れた国々という意味で、しばしば後開発途上国(Least Developed Countries)を指します。これは、国連開発政策委員会が認定した基準に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された途上国の中でも特に開発が遅れている国々のことです。

①国民総所得(GNI)の3年平均値が905米ドル以下であること、②健康や識字率などに基づく人的資源指数(Human Assets Index)が一定値以下であること、③農作物生産量の安定度などに基づく経済的脆弱性指数(Economic Vulnerability Index)が一定値以下であること、の3つの基準を元に認定されます。2010年3月末現在、49か国が認定されています。

#### 後開発途上国リスト

<b>【アフリカ (33)】</b> アンゴラ、ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ニジェール、ルワンダ、サントメプリンシペ、セネガル、シエラレオネ、	ソマリア、スーダン、トーゴ、ウガンダ、タンザニア、ザンビア
<b>【アジア (15)】</b> アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、キリバス、ラオス、モルディブ、ミャンマー、ネパール、サモア、ソロモン諸島、東ティモール、ツバル、バヌアツ、イエメン	
<b>【中南米 (1)】</b> ハイチ	*2010年3月末現在

### 貧困をはかる方法

「貧困」の定義はひとつではなく、国や機関によってもさまざまです。もっとも一般的な定義に世界銀行の「1日1.25ドル未満で暮らす人の比率」(国際貧困ライン)があり、これはミレニアム開発目標の目標1「極度の貧困と飢餓の撲滅」(目標設定当時の国際貧困ラインは、1日1ドル未満)にも用いられています。また、貧困には、必要最低限の生活水準が満たされていない状態の「絶対的貧困」、これに対して、ある地域社会の大多数よりも貧しい状態の「相対的貧困」という見方もあります。



© UNICEF/NYHQ2009-1250/Pirozzi  
マダガスカル首都にある貧しい地域の通りにたたく子ども

国連開発計画(UNDP)では、貧困を「教育、仕事、食料、保健医療、飲料水、住居、エネルギーなど最も基本的な物・サービスを手に入れられない状態のこと」と定義し、長寿で健康な生活(出生時平均余命)、知識(成人識字率と初等・中等・高等教育の総就学率)、人間らしい生活(1人当たりの国内総生産)の3つの分野から算出する「人間開発指数(Human Development Index)」という人間開発の達成度を図る指標を作りました。「人間開発指数」は、所得以外の要素を重視して貧困を測ることで、貧困撲滅への国際的な取り組みにも大きな影響を与えました。

### ほんとうの貧困とは

貧困とは単純にお金がある、ないという経済的な側面だけでなく、人間として享受すべき教育や医療などの社会サービスが受けられない状況も含めて多角的に測られるべきものです。そして、子どもにとっての「貧困」も国民所得だけでは語りつくせません。子どもたちが経験する貧困は、子どもの権利条約にある権利が守られていない状態でもあります。水、衛生施設、栄養、住居、教育、情報などの基本的な社会サービスを利用できるかどうか、そして子どもたちが潜在能力を十分に発揮できる環境にあるかどうかをはかる必要があるという意味では、人間開発指数でも十分ではないでしょう。豊かな国でも労働、ジェンダーなどにおいて権利を剥奪されたり、豊かさゆえに精神面で満たされない人や状況も生まれたり、近年、所得格差が拡大している先進国も多くあります。本当の貧しさとはなにか。それは一つの指標では測ることのできない大きなものかもしれません。

#### 「地球のともだち ユニセフワークブック」をご活用ください

「地球のともだち ユニセフワークブック」には、貧困について考え、学習するコーナーがあります。他にも水と衛生、栄養、教育、平和などのテーマで作業をしながら、地球の問題を知り、自分たちにできることを考えることができます。「地球のともだち ユニセフワークブック」をご希望の方は、日本ユニセフ協会学校事業部までご連絡ください。1冊150円です。部数が多い場合には、送料もかかります。

日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL: 03-5789-2014

FAX: 03-5789-2034

